



平成19年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：「溶接構造物の疲労健全性モニタリング」

座 長：大沢直樹（大阪大学）

日 時：平成19年9月19日～21日 13:00～17:00（予定）

場 所：信州大学（長野市）

開催趣旨：

溶接構造物の寿命を支配する2大要因として腐食と疲労が挙げられる。このうち、腐食は目視による検査が可能であるが、疲労損傷は大きなき裂が発生するまで目に見えないため評価が難しいとされている。溶接構造物の維持管理の重要性が叫ばれる中、疲労損傷に関する情報

を点検・モニタリングにより取得し、それらをもとに既存構造物の健全度診断、余寿命予測などを行うことが必要とされている。近年、犠牲試験片等の既存モニタリング手法の実機適用が進み、その精度・効率の向上と、取得したモニタリング情報を合理的に利用する技術の高度化に向けた努力が続けられる中、レーザースペックルなどの新しいひずみ計測法を応用したモニタリング技術の開発も進められている。さらには、母材については、陽電子消滅法などにより金属材料の損傷をき裂発生前から非破壊的に計測することも可能になりつつある。損傷モ

モニタリング技術は溶接構造物の保全活動をどのように変えるのか、新しいひずみ計測法はモニタリングの精度・効率の改善にどのように貢献しうるのか、さらには溶接継手でも、き裂発生前からの損傷検出は可能なのか、などの最新の技術動向を中心に、溶接構造物の疲労健全性モニタリングの今後の展開を議論する場として、本フォーラムを企画開催する。

予定討議項目：

- 1．疲労損傷モニタリングの実用化の現状と今後の課題
- 2．新しいひずみ計測法を応用したモニタリング技術の動向と今後の展開
- 3．非破壊損傷診断技術の動向と今後の展開

申込方法：

著者名、タイトル、概要（200字程度）、所属、連絡先を明記し、Fax（03-3253-3059）にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：平成19年4月2日

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日：平成19年7月24日

注）採択された講演者には、原稿を所定様式により作成し上記送付期限までに提出していただきます。提出していただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集No.81に掲載させて頂きます。原稿作成・講演方法等の詳細は座長（大沢直樹）より連絡いたします。